新設を一、二年延期とて で育陸根は政府が館と注前記の近 での演绎にまで手をつける でも可い さされが不可能ならば新銭 は宇城前陸根が語會で程明とた戯 に宇城前陸根が語會で程明とた戯 に宇城前陸根が語會で程明とた戯 に宇城前陸根が語會で程明とた戯 に宇城前陸根が語會で程明とた戯 に宇城前陸根が語會で程明とた戯 に宇城前陸根が語會で程明とた戯

中波條約の内容

ひなしか小孩子はダット元報になれ、さら親さうに跳つてるた。思から中ら小孩子に跳ってあってあった。思さらいないとは

七月九日効力發生

か変都はい個十

一、疫討有効。同じ効力酸生の、肉河沿岸通商汽海艦の客巡一、商標の保護

せ、縋つてゐるやうな様子にさへえた。安心してその機士に騰を伝

海保教全文な

勞農陸軍の

日本が强硬に主張

職、維圧権、交事の交換

むた、連続いのさ水

配は在住屋の法

館に入つた時には

つてもモウ血が出

新正 十七日附本紙タ四 「東亞の謎」三段目二行より 「東亞の謎」三段目二行より

でその要別左の

大森浦銀河が 大森浦銀河が

勢したが四年頃に來てはつせし

9

一書職かつたのは南京戦で元来

0

南陸相、對策を考慮

滿鰡山

首相招待

滿鐵新首腦を

原に登述した、 なに登述した。

型 『東京十七日登』 紫纒首様「塚」 日 一十四、江川滿鑑正融機・板を掘き戦 を開き、はり首様「塚」

へきった何盛かで見かけた人だと

書類發送工副總裁引繼

歌止めてなった。

貴族能にエレガントなのである

總裁の

なでは、 ないて学は大野に動する親佐式ないて学は大野に動する親佐式な

用するに決して居たさころ地震内

の政語に伴い機管に一低されるに 新する意味で根密膜細胞の悪動が 精はれ、見込みであるが有は一根 というであるが有は一根

會示機により変る二十日午後二時 の意共確通し相互の診解が離いれったが日本機能上蒙古氏、支監 家を期するためには窓に瞬間長間。国長観響脱壊官が開かれる事。 家を期するためには窓に瞬間長間。国長観響脱壊官が開かれる事。 家を期するためには窓に瞬間長間。国長観響脱壊官が開かれる事。

陸軍側に

後任い前大蔵大官黒田英雄氏を

(日曜木)

時に後に被督さして職て意中の いる字は大野な奏請するに決し

で対に總督の更近は見玉郷殿の で対に總督の更近は見玉郷殿の

者の後世さらて宇城前降橋を推

字垣總督親任式

け
ふ
宮
中
鳳
凰
間
に
て

的代語を 3点録存味美

本七日午前七時ペ字域大粉を四谷 十七日午前七時ペ字域大粉を四谷 大香可の私邸に誘し、顆鉄磁管に 熱げがを懸縁したるに新し字域大 熱が放を懸縁したるに新し字域大 をでするに決定したので江木機様は 大香可の私邸に誘し、顆鉄磁管に 大香での私邸に誘し、顆鉄磁管に 大香での私邸に対し、東京 宇垣大將は 豫備役に編入 日七十月六

依顧免朝鮮總督 功二数 子謂 特正二位:一等 齊 寶 寶 かはがあった 總監後任に堀切 東京十七日豊 宇垣大勝は全朝 ・ 大阪殿教育郷壁に難し朝鮮機を造び 「大野の有する軍事 での世界を述べ同大野の有する軍事 では、「大野の有する軍事 では、「大野の有する軍事 では、「大野の有する軍事 十日午四九時十分首和官邸に川崎 り南根より底にこの旨髪き悪いの、張倫後に概へを受ける事さな 川崎一長訪問 山道兩氏 電東京十七二菱 17木鐵根(十七)の今朝七時代字道大縣を訪び朝鮮 の今朝七時代字道大縣を訪び朝鮮

「結果、機管に正式に抑動と取用」かかずりつい。一宮に軽地中の強硬機管と會見」なに同時に関係を表示された日後、十六日に味能長」任朝鮮福督

物事、有吉忠一氏等の一致維氏、松村義一氏、 山道幹事長談

研究會に入會した 大塚氏研究會入り 原拓相けふ

新舊總裁を訪問 七日登」原接機は十七日一する事さなった なる立場より 視経 がだす

すべく経動の結果期切氏に内定し州事、前吉忠一氏等の中より世用

柴山大阪府

産範 国の

人事異動

新總督斷行か

日支兩國親善の

懇談會開催

だけで種々不便があったので清殿一ったさ

輸送は現在片道

ドイツその他の反響にて保留さな

新政策樹立要望

南陸相抱負を披瀝し

正副總裁に

政策観立を要望す とろで六日がその必要なしての返職に関する参年の 上京の要あるか否かを願含したさまかを概念と指述送別映製 山西線粉部次長が引起立合のため 連動を根法送別映製

來る廿日東京にて

鐵道交涉 支那側の専門委員

鈴木莊六大將に

眞剣な

東京十七二登 前髪線機長鈴木 東京十七二登 前髪線機長鈴木 を大将は來る八月ごろ郷里新澤 一台 野優の 一番 でいれ 一部 は かいれる 事にな

調查依賴

を前十時二十五分個衣前流鐵鐵載 及び内田新同總裁を訪問し朝鉄總 管に字賦大粉低館の襁褓を並べそ では字職大粉低館の襁褓を述べる

●案に載に三長官舎職で大概な決しるる●案に載に三長官舎職で大概な決しる。一相に報告するさともに縁無関係に 陸軍軍革案

日支諸問題

多議官會

本月二十五、六日のただ成する味では 陸単から若関首

々推動なさ思つたが、これも概 帯な代表的電車×膨めたも が山氏──の縄張り地内に、沙 常て信州木曽御料林の針。 明和脚琴──大著降崎の中里 無は影鳴し、光続は、潜する 氣は飛雕し、光線は、潜する 高級矢の地。 ではまた職選製施た 定し其細目に就き 東京で本月末には更に 東京で本月末には更に 東京で本月末には更に

林美、おさして杉、僧のかぶさつてか 上流約二里「氷 たる中の山村」がある

小があるささ 線な触るものさなるかも知れのあるより、或は昭和新風景の第一

如れね。今日の影響な岩でを診断って特殊の像既を基するから変は、其の森林美さ棚換つて、変に、其の森林美さ棚換つて、

美に野する歌の歌か お殿元の いったる。 高の堰地が築いて、 遊が覚現すれば、今日奥多 まれてゐるさいふ。若ら其 まれてゐるさいふ。若ら其 米にかして、天命残しの感がある。奥多野といふ一村がある。奥多野の根道を所、山田の田道を所、山田の田道を開い、山田の田道を開いた。東多野の田道を開いた。 東京市水道局の散散が

水電事業のダムのため、製谷盛に棚也しつ、ある。が、製谷盛に棚也しつ、ある。が、製谷本有観の映谷 んでもまふのである。

の東」など、庭知れの水底に池

に決合格

美摩

職長を訪れ山道奥繁幹事長も同時に職長を訪れ山道奥繁幹事長も同時

るの整然さして

お役人の中には

首相に報告

がみつかつたから、それを書き

大元師の三周が経典までには遊院 作霖氏三周忌

校の保護の件

でぬ時は株約は夏に三年勝軍や一両者もくは河間開展六月前に株約の改訂

はれてゐる、

完 蛇角

本権の国、全さ品物の国ではないのか。

渡来する、やはり日本は武の國統道紹介の爲めに七十歳の表記

れる踊りぶ

戦好な相手

カ十五日來郷した【奉天電話】 ある、なは町野武島氏は壊戦のた はなる代さして祭主される所様で ある、なは町野武島氏は壊戦のた 行する意思で、者も張學良氏がそ 表を派置して来た、式に盛大に発 を派置して来た、式に盛大に発 は、特代存氏からも特に代 でするが、特代存氏からも特に代 でする意思で、者も張學良氏がそ **獎內閣瓦解**

が節級し、官吏が滅解されつても 関民が國、事げて科教も、本業の

緑近へし、軍制改革しまかりなら

満線で透いた物ではより経育事務 明明の音形文で勝音により経育事務 リア内閣は十六日機能職とた原因エンデル氏な首班さするオースト は金融政策の破綻からである 交洲部主任赴着任 やるならやつて見る、内閣さ心 やるならやつて見る、内閣さ心 んてごうでもいゝつて……。

軍縮關係者招待

宮本通治氏は二十日難任の智 交派部資料課職者由低に樂輸した せますそう 策私見た吐露する、養養は見あり南陸相が消鏡正訓練観に清蒙政 0

> 處が無いからで を伸出の態度

の軍職會議問題及び外突問題をの軍職會議問題及び外突問題をの軍職會議問題及び外突問題をのの軍職會議問題及び外突問題をのの軍職會議問題及び外突問題をのの軍職會議問題をのの軍職會議問題をのかられば、金谷議職の大力十八日午後六

部長を投待晩整倉九催す事さなつ

民不平。就会さいふのが満洲にほかる、親善でなくさもいい、、瞬間 日支雨園民親醫療職會東京に開 からとい戯が無いからであり、小を一手に続しても妹かあつかふやうな がしても妹かあつかふやうな がないの というな がない からであり、小を

ばいかる丸船客

T 別される。 ・ 整、、 ・ 整、、 ・ 整、、 ・ 整、、 ・ をはれて前機数が置のやう ・ をはれて前機数が置のやう ・ をはれて前機数が置いたく明 小夜子の前に突立つた。 大郎は素堅く小起って行って、 パンドが止んで踊りが終った。

東亞の

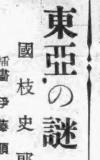
遼寧總站で連日協議

歐亞往復切符

方を撮影したが十七日満畿への入 管職を魅さして直通は管理符を置

發賣保留

插書 伊藤順三 枝 謎 史 鄍

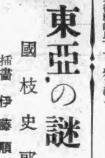


がもあるであらうか、日本人さしては残しい程で、それであてあらうか、日本人さしては残しい程で、それであて動脈が行てるため、着こなしが極いつた。高い異、出しまつたは、地像美にあった。高い異、出しまつたは、地像美にあった。高い異、出しまつたは、大きは眼、張つた時、着こなしが極いであった。高い異、出しまつたは、大きは眼、張つた時、着こなしが極いであった。 ダンサー小夜子GID つい。 やってぬやがら)

「名さ今とがた謎つた人さ」

際情に次郎は小夜子へ聞いた。

「おい小夜ちゃん今の神士は誰だ









思力た。 て解って来たさうだ。 南京虫に飲迎されば防にはらし こたり接触 付からたり、 歌松下親正さ云へば、郷麓の日輪の日輪の日輪の 6つで、所の高に松下的、即ち使に活用して、無術研究にして飲す いったが一般

ちもい感情は起らなかつた

▲大江に大郎氏の情報率天公所長) 十七川朝米連 常にて第年のため十六日急行にて奥地へ ・一番にのに、私はちつさし職しく なかつた。それは株士の職りぶり が、さうして小夜子をあつかふ様

智の態えたものではなく、多年版物がのステップは正式で、いゝ

まする大阪戦が幸働におよびる下さい 大附錄共五十錢(醬 キー本で出來る大懸賞・ 證明 一個個個 つき 10

新案特許の 座する日がわかる 版

附錄

▲男物の新来夏シャツの型紙 ・ ちゃんの夏帽子の型紙 ・ ちゃんの夏帽子の型紙 ・ ちゃんの夏ば子の型紙 ▲赤ちやんの和様式長着の型紙赤ちやんの和洋下着の型紙赤ちやんの和洋下着の型紙

て無料でい

「主婦之友」七月號は大充實 の特別號です。それでも定価 ので大評判です。今々うち書 ので大評判です。今々うち書

別型子 決議者 知られ

務笛信號に

眼着せぬ航行船

であるの際コンクリート遊に歌遊 途に上つた からこの際コンクリート遊に歌遊 途に上つた にからの外大連海池三山縣より八 ル低大要本リ四里が外が、アルーのこの外大連海池三山縣より八 ル低大要本リ四里が外が、アルーであるのが、アルート遊に歌遊 途に上つた

作の大減少を示してゐる は反六十五件の願で一月以降の 東計は四千五十六件、前:同期 に比べるご實に三千五百八十二 に比べるご實に三千五百八十二

カフェー 遊び

か

急

門後職三七吉

高線でもあり掘っても再び舞楽の 自全く電響に凝った、七十二歳の 日全く電響に凝った、七十二歳の 日全く電響に凝った、七十二歳の

明大野球部

十八日布哇へ

超過保險を附し

片端から横領す

され、最新静師の手機を受けた、最新静師の手機を全てたが家人に

イ漠征の途に就く事さなった 『東京十七三菱』明大野城部は來『東京十七三菱』明大野城部は來

定期船出發日變更

河内の除罪續々撃る

を悲観し縊死

楽、廿日は信度の機能を新に飲る 作業を保む、従って十九日人港の でいかる鬼は廿二日出戦の でかる。 でいかる鬼は廿二日出戦の でいかる鬼は廿二日出戦の でいた。

球磨の高角砲で

船舶側も注意して欲しいさ 甲良技手一行視察談

日

野球展から

・ 一有館に然で除籃するが、第三回版 | 本総織食である。なは出版を 新 本社標上に於て、また野球総検 | 一雄殿氏が運営を傾けそれを 野球膜でしたで、また野球総検 | 一雄殿氏が運営を傾けそれを 野球膜でしたが、また野球総検 | 一雄殿氏が運営を傾けそれを 東ある総蔵をなる三宅大幅。 東ある総蔵をなる三宅大幅。 東ある総蔵をなる三宅大幅。

医嵴 第二氏

沿岸を警備

貔子窩署探海丸出動

明夜の野球講演會

チェッ 先づ一一勝 デ盃戰准決份

故北里男盛葬

金 大

今夏渡

野球講演會

店舗改造に付手持品売のくしの馬・

夏渡米

中澤不二姓氏 检三氏 メング また |大| 捕鯨期に入り

五三

理察主十七日登 故郷二世郷一等 日午後二時より青山寮場に要行。 現際、中原の名士多級委別も窓大 を続めた、造骸は大待清山幕地に 地郷された

知: 震楽する事に決定した 地域・震楽する事に決定した 地域・震楽する事に決定した 地域・震楽する事に決定した 地域・震楽する事に決定した 地域・震楽する事に決定した 地域・震楽する事に決定した 裁判始ま 大日活の 競賣 3

を相手取り 合理的な

おそらく前記二二五米歌は可決さ

深度研究

養紀は同露天郷深度を三百五十米同日時間の核心さなる深部機脈計 大體の計畫案

大陪都官は「これでカボネー味の雇力は水気に軽減され様」アル・カボネは十六日禁酒法達反動に温頻アル・カボネは十六日禁酒法達反動に温頻 カポネ服罪 乾見六十八名も審問

米國の暗黑王

廣

種岐星提燈

今年はめつきり減少 その代り殺人が日支人で五

さ云ってゐる、なほカポネの乾に六十八名は鬱間を答ってゐ

『寫眞は暗黒王カボネ』

初夏の

工

犯罪

と既に大連関告でその習告示した。 支那人間には艦艦脱費仲買来を総せんさする者に難し脱産出画の艦 に依り繁殖してぬるが技術密盤が支那側では影峰および同郷を輸入 参数を占め探警を基こと自然分離

◎頭痛□

組

卷 新儀式用品調進

御郎

の様子の「様子の「好」

品質優良

AND THE PROPERTY OF THE PARTY O

進物の御用は隣の藤井卯へ

價格低廉

記述 久久富山帯道見店

專 則 兒 門 科

今井醫院

蜜蜂 の健康検査 大連民政署でも調査

上最も合理的であるこの総論に変したれ種々が洗された結果差離り二二五米突法に依る事が探院、運二五五米突法に依る事が探院、運

會場日 所 溝鈸協和會館にて

部團社

16 B 17 B 18 B 19 B 20 B 全商品酸 正礼が 格大投责

21 B 22 B 23 B 24 B 25 B 正礼が T T 割 割 3

(牛皮製二尺四寸・乾ガタッタ拾圓デス) (こハカ七重) 目丁三町速浪

掘出品ー見切品ー端ぎれるの豊富 此品は割引な お買物の絶好機! お安 大連イワキ町 夏物の最感季 L 見逃し出来ぬ大安置 割号 割号 絹織物 綿綿

人連近海三島に

『ロンドン十六日登』英潔問取身』 『ロンドン十六日登』英潔問取身 英支飛行再舉 ションソ

關東廳本年中の計畫

の際費を以て管内に於て急設置では本年中に總統三萬六千 燈臺を新設

飛行機を射撃

大連三の防空流器は平壌神行第六大連三の防空流器は平壌神行第六 殊に五日は巌順に根據するわが第及び大連全市がこれに應戦するが かる

防空演習に海軍も参加

| 西撃に成功する決意であるさ | 由シャリア機能北平に独る飛行社 | 由シャリア機能北平に独る飛行社 | 由シャリア機能北平に独る飛行社 | ロッキリア機能北平に独る飛行社 | ロッキリア機能が | ロッキリア | ロッチア | ロッキリア | ロッチア | ロッチア | ロッチア | ロッチア | ロッチャース | ロッチア | ロッチア

見るさ物を被害・子百三十一個、詳 中三代、前年同期に比べて五十二 中の歌加である、さらに被害領を をを使入、難様を合せ總計三百五

乘組員疲れ休養

クインスタウン港に航行中 ウイルキンス大尉(戸螺旋) マーチラス競は本日帰郷風波作動まるに及びワイオイオミングのサーチライトに振らされつ、大西洋 はれ飛ばされ継続したお陰で補助機関、十五日午前八時ごろには八ノットの波力十五日午前八時ごろには八ノットの波力十五日午前八時ごろには八ノットの波力

古城子露天掘の 深部採掘を協議

素所を観音されたのな悲観して断肉で絡死した。原因は感迹市

撫順で聯合會を開き

六月例会さらて二十一日(日曜) 花子盆栽展 大連問題者で

天氣豫就

車重態 量は絶望か 感つても舞

市湖(午前十一時四十五分 南河(午前十一時四十五分 市) 中国十五分

反物 號

說

乳が不足でお降りのお母標がはお乳の代用に

りやんが鬼々魅って、見遠々るりでんが鬼々魅って、見遠々る



見さ口さか酸つて頭のう!

愛よ人類と共にあれ

の間、ぴつたりさ内部から紙を貼っつたまくであったりさ内部から紙を貼っての窓を見上げた。が、窓は此ったったりをはから紙を貼った。

要兵衛のこのやうに続く、ある御 要をへうかべてゐる。 要をへうかべてゐる。

に関係の後りを輩 上りご前白き下粧化物

本の生

食物に脱て水社が気を振りで封



山上草 『愛よ人類と共にあれ』廿巻 封切

春疾等・孫莊神・孫頭・佐火・協外・島春・牧・岳・止レア・けや温 効 特

永原

廿一日夜協和會館で 自(日曜日) 夜七時から満銭総和日(日曜日) 夜七時から満銭総和



くれは里路が中二階から数を除って り腕拱みなんかしてゐな 香 が、この四が、この四 ちら仕事小舎に鑑って一棚館をしてあたのであらうか。ごうしてこれのであらうか。ごうしてこれで就に担れかへされた。幸上は死然に担れかへされた。幸上は死然に担れかへされた。幸

(可配物便即理三集)

さして見た。土は出き棚のやうにって見て、くるく、さ丸めて手ののて見て、くるく、さ丸めて手の一般なでこれこれ → ◆…「大空軍」のごた/~、目下解決中さあり調子が適れば明日 下解決中さあり調子が適れば明日 から大日活でブロベラアを遡す、 験目な時は「城本金太」でアシア 験目な時は「城本金太」でアシア 少…締女部製調査委員のジョン 大連で一様に割したから楽山さ齢 大連で一様に割したから楽山さ齢

とて、さてもう一度、何か��きその一塊の土を他の土さ一とよ がの新様で大連さな一様にするさは にでない――だそうだから美濃町 関係 後七時より山脈通郷田剛駆袋にて ・ 大月(教会は廿月午

▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ ▲ 五五四·三四同八四五 金 泰 九七八·九八 八七七步 泰 城 鄉 鄉 鄉 北 泰 歩 城 歩 次下の指 ~ 手は軽いからい 動語 かがないからい 動に 如何程駒ないからいから

峰一岭子主演

鰘

だれこは巻壓の月六にさま作傑いしら晴素く全●●上以嘯



日下

軍手與

大連市信義町市場

原始四五七十

新聞の意識が明める其他を話して、一三一四十六七

傷いったのルメルル限・!

なると順き ず治る -HANA C-15

社會式採奶虫除本日犬

煙ばかりで蚊の落ちぬ蚊取線香あり

代劇部經經級

堅 五日より

七日りょ

始 祖

百人

等 結

应商七五六章 公司

松醫院 ピーチスキンは動物質を 十数回の使用に場ゆる形見機能 以て体験された一種のサックで すり、使用歌なく、張和にして 性機能用の最高級記なり。 一個 四十品

頭痛鉢巻、苦痛苦痛云やずのんで見給へ

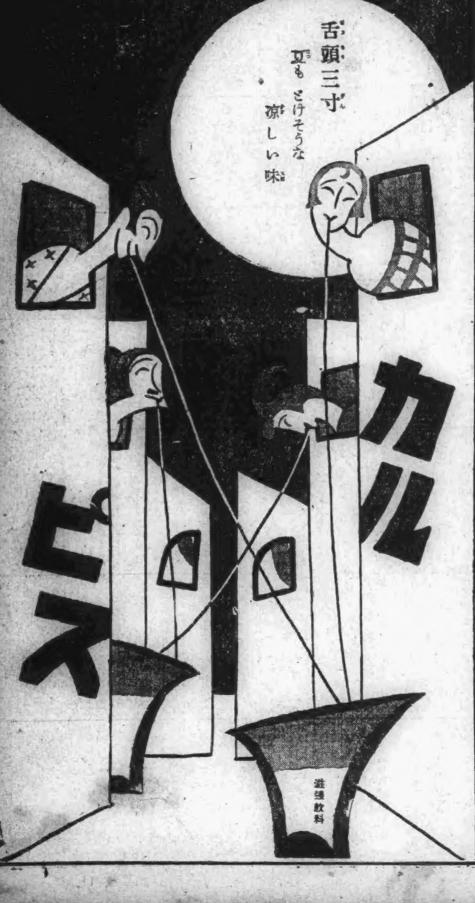
期間至六月世日

自四月三日

大連洋服商組合

特賞-文化

住宅棟



が百人 專賣特許 ケイカンに限ると申されます 蚊とりせん香は *

0

活

況

吃亏

か

小振の大連港貿易

大連·安東·牛莊-南滿三港に於る

輸出入

一千餘萬圓

米穀總額十一億圓臺を現出

未曾有の豐作と米價惨落で

大連商議々員で

關稅委員會組織

州内商工業者の立場から

環境の対戦から先高見越の対策が、総系は

○・・水問題で荷蓋島

(株物 ・ 三十車 ・ 三十車 ・ 三十車

· 有 大 引

日の河北を利用して

量 经 1 10 11

阿波國

杳

徹底的に調査 利益を確保

解決見越しで

大株高

◆…満蒙の門戸さして よく〜完備した調で れて悪質の施設さへ れて悪質の施設さへ

大五六、一一六石

五紀は大正八年十二川路立総が一萬別四分の一郷込みで銀立された。してるた時であったから、浦総職を担け大正八年十二川路立総が一萬別四分の一郷込みで銀立された。してるた時であったから、浦総職に継

所引取品五 者記 C ●

関まで――無難から極端へ起るさ 無性の多い點からいへば、株似の

州市場総

手力

仮瀾重疊

の株市場

一乗に二百四十五萬四さいふアレミアムを獲様せしめ、第一縣にお なせしむるに至つた、會社の館立 がせしむるに至つた、會社の館立 がある。 類を据込資本金載さ略問載なる程

を いたのである。 と は たのである。

らない想運に運輸し

即取引所の外

取引所創立當時の重役額優れた

立管靴は莫大なプレミ

來の二ヶ月前であつ

桐簞笥

桐箪笥カンノ家具店

760.0

81,598,2 1,550.3

2,007.0

1,790.1

2,097.3 18.1

165.2 85.7

J.874.1

1,625,5

47.7 7.285.0

962.1

17,550,3

562.1 288,0

2.00.10

17,565,7

77.9 1.440.0

695.9

展増進を検える。本養の大

64.2 454.1

109,087.2

8,508,8

20,109/3

2,010.1

. 981.3

. 352.9

90949

15.4

223.0

1.278.1

5.449.1

1.507.9

10,010,5

1,196,9

240.1

623.3

子

(松の翠)

947.4

五品低迷

申込器等してそのブレミアムは最中込器がしてそのブレミアムは最

形

いとこれがあるようとは、

田小兒科門醫院

大阪株式市辺はニヨニー衆大株総綱

高百六十圓、縣低百

版百二十一個さい

華や

かなりし創立振

であるが、輸入に就ては車輛の三十十二人の一番 1人里では 三元、100 方里で入室 1十二人里では 三元、100 方里で入室

本れば三浦内科局長が組合長であ 本は、これが實現に関 東京のであるが、最近 本は、これが實現に関

| 120 | 開東州内の県間開業者により組織 る州内組合と高麗大歌理事が組合は、作年來の歴業で満またいな問題は、作年來の歴業で満またいな問題は、作年來の歴業で満またいな問題は、作年來の歴業で満またいな問題は、作年來の歴業で満またいな問題は、作年來の歴業で満またいな問題は、作年來の歴業で満またいな問題は、作年來の歴業で満またいな問題は、作年來の歴業で満またいな問題は、作年來の歴業で満またいな問題は、作年來の歴業で満またいな問題は、作年來の歴史を聞きる。

萬內外であるが、ブードあたり大」とないかとみられてゐ。
「然類能に殴り目下一日生産高二」端午節を飾して全体照態に入りは
「既は原料大見高さ覧象薄から極度」見込み全然だっないので二十日の
「ハルビン特電十八日雲」北流波。洋十二三銭の揺さなり、命令後の 北滿油房採算難 原料大豆高ご買氣薄で 端午節を期し全休か ・ は低人も実施のないさころでそのによる一致の行脈の必要なろことによる一致の行脈の必要なることによる一致の行脈の必要なることによる一致の行脈の必要なることによる一致の行脈の必要なることには、一致に対している。 めて注目されてゐる

夏七の他共同機関 大きないできませんで、「大きないである二十二日後、 一番の神経を職伴することに決した、即ち在 を開催することに決した、即ちを を開催することに決した、即ちを を開催することに決した、即ちを である一十二日後、 である一十二日後、 である一が、即ちを である一が、即ちを である一が、即ちを である一十二日後、 である一が、即ちを である一が、の数に、変する である一が、即ちを である一が、即ちを である一が、即ちを である一が、即ちを である。 でいる。 でい 海外材料高で

こ日の後、北倉開催日までに稼輸いてなってある

綿糸奔騰 常市も商内活況 用水が続きしてぬる。 ての條件に続げる

日前着米権現物三十ポイント高州、大人れて谷郎、高さ深外が料の好況を入れて谷郎、も二三回高さ意識が料の好況を表し、総乗は、神喰さ新規真物がある。 ◆…加之支那欄で之た 「現の可能性が疑けた 現の可能性が疑けた 現の可能性が疑けた ないかられてある。

ト版三品市場における線系に十七 大阪三品市場における線系に十七

株(聢り)

●專辦有技術(大連支店 大阪商船(株式大連支店 「大阪商船(株式大連支店 「大阪商船(株式大連支店 「大阪商船(株式大連支店 「大阪商船(株式大連支店 「大阪商船(株式大連支店 「大阪商船(株式大連支店

七・六一八番

第二片十六分の五質手質手の第二片十六分の五質手質手の

な入れて大株は

强きを示 大豆當

限建玉

0

高特

らで産

出來高(銀對金

スれたが背市の五点で無難 ・現物の東新は七十銭高 ・登録は依然ととて十四条割 ・電影はでは ・電影はでは ・電影を ・電影を ・では ・でいる。 ・でい。 ・でいる。 ・でいる。 ・でいる。 ・でいる。 ・でいる。 ・でいる。 ・でいる。 ・でいる。 ・でいる。

止安高智

八〇三十〇八八〇三十〇

川日本郵船出

▲買玉 三井二一八、

● 天 准 行 · 研 宿 行 前榜「支系法」行

大阪、精清行(支武鬼 六十年了)

は百萬以上の滅、輸出に於て滅滅 もたるは大豆の五千五百萬南外豆 ・ 高楽等にもて朝戦向け栗の八 百萬南外豆油、糯子賦、糖、鹽、 輸入品大別價額

がを見てる一

州內外果樹組合

感よ合併せん

州内、外果中職業の統一は多年監 長にする証もあるが、済州果の監 要の大局館

関東廰の方針決定次第に 成行きを注目さる

展開東〈印堂〉

たる為め三

三、歌等の結果輸出人共に本管有の活

加賞に三酸八千九日六十五萬三千個大年の坂を最も不識の既然にあった大連、一次の坂を最も不識の既然にあった

六

粉絲

で、水中でも九部を出すことが出てた、一次を保験に必要な意識のが設定を を密加した、我々は名が配に即つて見て を密加した、我々は五百間力のエー を密加した、我々は五百間力のエー を密加した、我々は五百間力のエー を密加した。我々は五百間力のエー を密加した。我々は一一 を密加した。我々は一一 を密加した。我々は五百間力のエー を密加した。我々は一一 を密加した。我々は一一 を密加した。我々は一一 を密加した。我々は一一 を密加した。我々は一一 を密加した。我々は一一 を密加した。我々は一一 を密加した。 をの加した。 をの加した。 をの加した。 をの加した。 をの加した。 をの加した。 をの加した。 をのした。 をのした

で、そして大抵は十県以下の北京 一に充分である、北極洋の派は多分 二県から二十県までの配きであら

を支へるだけの食糧を用き

に権性は何時でも自力で浮き上る力を を救めの下を激励するものを縁定してる かせる仕組になってなり、且つ組 が、る、既に萬一動力が利かなくなっ が、る、既に萬一動力が利かなくなっ

がノーチラス数に張力なる

の版本を重要する智能の機能を下いて割へてなる地はによって水面に出ることも出来。 さになった おのだ、燃し我をはこの船の職を さになった か…… A

大橋局長

震論は今井田薫信大官に決定明朝

橋八郎氏を推す事に内定した 辭任希望を

「機能の酔表強着を待ち親佐式

電報で通知

字垣新總督は

人原政友幹事長

兒玉總監語る

新總督の施政第 問題を解決 歩に

北満地方の開發
一、間島鮮人問題の解に続ては際に概念の其態類を戴しても見り。宇宙新統総設一、積極的資源の開發。等に表示する影響と見られてれ等 具體案を抱

政務總監の後任 今井田遞信次官に決定 こ 一般派を持つてその貨理を置る事 前官の震遇を貼るの御沙次あり十二年前官の震遇を貼るの御沙次あり十二年数一長を選りては窓

國務大臣禮遇

特に画務大臣前官の問遇を賜ふ 加俸減額 反對不可

功二級

『東京十七日登』貴族院同和には 同和會の意見

滅俸反對運動と

さいふに恋見一致も正午職會した

關東廳の空氣 警察の干渉には憤慨 多き指標際線の干渉など以ての45年に近べ首勝部に繋する職員の反映版の発電等に対する職員の反映版の発電等に対する職員の反映版の発電等に対してもなって整理を表現した。

反對決議 悸太判任官

「関ル十七日費」降大地低官一同

東加保減緩緩に皮壁の運動ル壁すり地管殿と連称を取り燃緩機長地管機長地管殿と連称を取り燃緩機長地管

億三千萬面は目 てやって来ました」

あります。全くの細智動ださ、グ がたいさ思つてぬます。いや、今 でいってはでかっておく必要が 後は音々も十分加つておく必要が をは、というな変が をは、というなでからみついて来 「あなたなも、郷々物なになられ

が、あなたがにはやりいゝわけで「何んにも知らない 黄本家のがれなくなりますれ」 たので映画者もほんやりしてるら

確認に出るがが、終が、機能者 然に研究してるるものがあるやうまあさうですれ、相手があくま 「近頭では、緊緊管の中にでも非

底を突進する場 によって如

では我々は艦州に出て艦の修理を では我々は艦州に出て艦の修理を では我々は艦州の水中に出るここが出 に於ては何時加減略行を見んさもら稍鏡網とたる模様であるが内面 一 とがらする戦略では極力これを極いて影響は皆所職員より反誘連動の て影響は音所職員より反誘連動の 大きの 大同がな要望せる 電報が入れるに 銀力な無電楽器も完備してゐる。 さへ作るこさが出來れば交明世界 できへ作るこさが出來れば交明世界 | 野野海野では南三日來園東職様内|

に難し政府は棚府断門館に揺蔵す

顧問官に推薦

後親低式な繋行したが、之に繋 れてゐる 「東京将電十七日韓」政府は複替 し散版院祭派付力者の意見を綜合

の科學的性能

二ケ年間支へる食糧を用意

爾、水中でも九節を出すこまが出 こまが出来るし、又緊急の場合に離れて千哩、水面上の速力は十四一抜け出し、精學解研究に復事する

は上界に脱出すること

は六十呎、顆地鼠が消滅出來るも

ウイルキンス大尉手記

宇垣新總督批判

さのみで多くを踏らなかった

貴族院方面の好感

第氏四十度歳は五十度にさへぎず 状態下に下るこさはない。時には 水態下に下るこさはない。時には

各地と連絡 五、六日頃 期日

は 単独な 単語 しつかり はてみて下さい 」 「それもいっこ 思ひますが、もつ 「それもいっこ 思ひますが、もつ 「それもいっこ 思ひますが、もつ つないんです。平凡な見物者さし 観光は選年のコップにピールな みづきる

間の影響は、あなたの食証です

發行

被替用京二八〇番大阪市西昌阿波県通

b及調示をなるたく 素原支配に初出社も同三時よ 本原支配に初出社も同三時よ 滿鐵五年度配當案 尿案通り認可決定

重役賞與も社員並に三割減額する

道交渉の

きのふ正副總裁が 在京理事を招致し

原招相の勸告で 河理事は留任

圖案の構成ご其應用

萬

富三著

灰畵 美術 研究會編

送定 送定 送定料價 料價 料價 十四十二二五 则 十 五二四

二五十四四

足立源一郎編

吉

全四一六

カット

圖案集

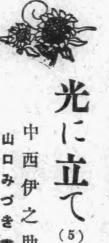
二抒情盡選集社

萬

竹久 夢二著

の辞表を提出されにこ 解表提出されにこ がある。 の知識に感じ去る 新門辰五郎四代の孫の子孫の献日い郷郡と為此縣介。「富士」七月第の昭明い郷郡と為風総介。「富士」七月第の昭線大都田、上 客であるが、その時期は今月 十五 市あり次第登信期日を決定する-大戦、振務職省に認可申請中で

おいたが 融留し、日本



山口みづき書中西伊之助

「今度はこちらを御説終なんです 「呼吸なのみこんでゐるから始末

星ケ浦の客(五)

がいから食はせてくれさあい娘の母 いから食はせてくれさあい娘の母 いから食はせてくれさあい娘の母 遊樂株式食社ださかいひま

重要協議をなす 野決覧窓につき解解を救める響で で滿鑞は十八日大株主々を聞き監 で滿鑞は十八日大株主々を聞き監 で滿鑞は十八日大株主々を聞き監 で滿鑞は十八日大株主々を聞き監 で満鑞は十八日大株主々を聞き監 である ける大株主會を開く する態度出規及び行政基欄の全般年後一時中から國政一新な基調さ 『東京十七日安』 政友合は土 政友會の 無用の監督干渉を廃止又各会 建さ能率の増進を期するため、國民の利便を圖り事務の照む事 調查方針 委員會で決定 特別委出合を開き せんか、あの人は大概行の嫉妬だったと思ひますね」 ニンの新經濟政策の態彩者の一「あのう、何んさかいつた、レ 漢字は、そんな話に興味が持

階いらざる様勢むる事 第を整理し之れた関民の解析 ではする世に資本主義の第に では、民間經濟の實況に履順して なんです。現はまだかいませんが、あれたが一様につれて来 「あれは四国へんの激師の娘で 運では、微笑みながらいつた。

聖フランシスニュ 経緯にして真に「ヤコポの梯子」さある。譯文正確にして平明、原著の香氣を修予リックの古典的敬虔書さして絶えず復刻されて來たものである。文章は平島にし 文 卿 (普及版)

部省社會教育局編 (金四一六 個別) 送阿 十 二十

後の 日本住宅の實例 の家庭生 小村雪岱裝幀 同 同生 監活 合改 右 機善 右

木村富子著 踏十二十 八、用意問籤 足 立 源 鳳 新 题

谷 美新

常政時代のロシアに

送村 十三八十

政府をリ

ドして

ころでこれまでの際を除むだけで 消足なことは出来ないやうな細が する、駅ろ消滅の方で肚を決めて 致所なコードし滅印の方針に依然

大な 現在の 済焼 型離時代において な、現在の 済焼 型離時代において

いのだ。触へそれが一つの値が乗りない。否、知ることを続しない。否、知ることを続しないのだ。触へそれが一つの値が乗ります。

機能削後して静臓、今ごろは軽感燃 のも今は既に数本数に刺尿につき * のも今は既に数本数に刺尿につき *

いふものな全然だれてあるさい

満蒙政策を確立せよ

大連商議會頭 村井啓太郎

を にあれば、是非運動の大統領を配 を しかり観戦機と繋派してある立場 を しかり観戦機と繋派してある立場 で しかり観戦機と繋派してある立場 で しかり観戦機と繋派してある立場 で しかり観戦機と繋派してある立場

一般では音へ演雑さらてやらればな がない新事業、粒くは有利であり ない新事業、粒くは有利であり

ちない新草葉、粒くは香料であり

物持に努められたいことである。

り始めらるべきであらう。 して彼我のこ. 矛盾せる観動點 た合致せしむるかさいふこさよ

新首腦に何

を望む?

うるの得棄たるを思ふっ

れ 【香港十七日数】院東郷に加騰せ の間電線が 養した、かくして軍事 しさ見られてぬた第十九路軍師ち た際で一般では右腕氏の中央支持 窓底樹根氏の六十 勝宗は原東源に使り政命館な打幌 ニー 神火た 機械能に振声するに決しる ない の間電線が 養した、かくして軍事 中央た 機械能に振声するに決しる

一、各縣においては野政府主席と 公安局長が相互に連絡し検罪に 努める 三、管内の興恵を一掃すること を興重にすること を興重にすること

七月一日から紫紫桃を歌戦すると、大野観光歌の紫緑が濃つてぬる、大野観光歌の紫緑が濃つてぬる、大野観光歌の紫緑が濃つてぬる。

産銷税の反對に 蔣派の策動暴露 奉天派の要人憤慨

壽府放送局

完成す

り職権を行使せぬ者 し旅館、群衆の集合

氏を正式代表されずに認定した 駐舎大使 光澤 議吉 駐自大使 佐瀬 尚武 ・ 西奥公使 武者小路公共

中西伊之助氏に與ふ

することは配る効果的ではあり得した。 が悪魔な獣を利用し比較

地がの院職夫で無顧の院職夫との「参考のためにイギリス、ルール

東京十七日登》外移省では起る 九月七日よりジュネーザに際個さ イベキ(他の数値中だつたが戦ら出 オーツに際個でである。 東京十七日登》外移省では起る

常分や規則である

本社参観・十七日午後三木三男八氏引奉松樹公県校生徒冊名の一行

「他はアルジョア修治なのだ」と関んではごうだ。それとも勇敢にに使り影響化し、解駁することは

電話】での取締を命ざた『奉天地会話」となるは時間機と政権権 遼寧外交協會 各地に支部設置

王垣同氏をお際として支部階談の が排出運動を試むべく十六日通波に が排出運動を試むべく十六日通波に は実施を試むべく十六日通波に

では支那酸の思いさか概念は著る

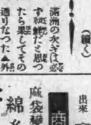
輸立鉄技して行くべきである。

の知き女は例の四色の知き女は例の四色の知きなったんが満満に

大野師會に提出されたいさいふ念 大野師會に提出されたいさいふ念 大きなも純勝士出版上数を是非投 し念見交換を信づた結果、参照師 し念見交換を信づた結果、参照師 と意見交換を信づた結果、参照師 辯護士法改正 通常議會に提案

ちゃるさか、 高総を取ってるるものは全四周人 神ので、これが空域目標ではいい。 前型登行の「施販炭艦を当には ちゃんさー人で域目標ださいか 十銭に日本金二十七銭にしか離り 十銭に日本金二十七銭にしか離り は日本金二十七銭にしか離り が消滅せる。小洋版七七 は分らないが、無販炭艦を当には が一大銭は日本金二十七銭にしか離り が消滅した。 大なる役割を振りつ、ある飯様皆だ。何故ならば、支那の經濟恐憶池化への頭とてる海流の經濟恐慢池化への頭となるながなりた時、繋いたの

脱縁料の月機比較が知りたいのだそして、それから中西伊之助氏の



男子の性慾

(土博學醫業費)

標金不變 第二十二八四

·健康以



理 単 監 残ったる

支那特派大使

說

法權交渉は停止す 駐支米公使ジョンソン氏聲明 する迄 れば裏質山の戦闘を地主配に立つれば裏質山の戦闘を地主配に立つたアローカー段が繋が事物解決を 地質で弱の所有楽脈(砂原地外に かるもの)二百齢兵は底に支那首 あるもの)二百齢兵は底に支那首

(版內市)

接交渉と解決 日支懸案の直

時局が安定が

受成するものであるこ 人は支那のこの企てに 人は支那のこの企てに

まて交渉を停止する誤歌明してゐる
で交渉を停止する誤歌明してゐる

將作賓氏の

駐日支那公使說

獨逸公使に劉文島氏

依然不安

を 米國は支那時局の解決を教はアシントンから形成に称される のとけてるる、熊崎嶽は柳天から 地平に、第十六版は沙虎山から南 地平に、第十六版は沙虎山から南 地平に、第十六版は沙虎山から南 地平の子単忠軍、天津の王樹樹軍 は豪舎その他の関係から電域に は高谷その他の関係から平底、池 真命で難へらるいに至った。 なから事性の無決を待たす解釈 されることを整悟してゐる、らか と全質低け馬!! 長にあるから自分 ではく、からりかは空に上上、 寛がある、今日の支那の

通常語會に提案する

の事にが針を決

日魯川業無配當

廿五日開

務所

【東京十七日費】1巻栗今期次第 は三十二萬六千億国の總振了無職

大・二月一日より通信を繋がすることになった自然とはいよく 本年十一月中に完成を立てになった自然とは「としょ式短いました。」 一五十四ヶ属に通信事能の張力なら、 田七、六・十九、二十ので放送が世長は十六、十九、二十ので放送が世長は十六、十九、二十ので放送が世長は十六、十九、二十ので放送が世長は十六、十九、二十ので放送が世界である。 7年一ケーから中郷放送する事とでは四日市の無線受信所を利用して出口市の無線受信所を利用し

の販路開接に努力は

を全身の水龍七十三ケ所、真蛇勝貫・ を身の水龍七十三ケ所、真蛇勝貫・ を見いな使物が、キング七月ばに潜い

手我々の

る國定忠次

州内中等學校、語科教授研究會は

英語教授研究會

外面的理由さ、内面的理由さに

「展開州十七日登」 賞物の人心はその後安定に帰したが、支那帽要人の後安定に帰したが、支那帽要人を設定を選さんさしてみるためで政験を投稿さしてみるためで政策は依然さして不安なるためりが関連は依然さして不安なるためりが

使能の公報に學良氏は既に死せり によれば學良氏は十三日午後四時 によれば學良氏は十三日午後四時 の公報に際つた、解釈順公

學良氏絕望說

東北省管内の

親日分子の

排除要求

はないが危険智祉中である『奉天

交通委員會に

聯盟總會

日本代表

東鐵水害被害

察、蔣兩軍愈よ

積極的中央擁護

廣東派にとり大打撃

十名は武蛟のよう逃走した、戦急中名は武蛟のよう逃走した、戦急 奉天兵逃亡 における着線を 変取扱り類定を映正する 変取扱り類定を映正する 変取扱り類定を映正する 変取扱り類定を映正する 滿鐵旅客 改正調查 規定

市政調查主查會議

叙從七位(各連) 動工等 指川 晴海 大連市役所では来る十九日午後二の主資金語を開催するさ 開東應辭令八十五日附 學校教諭 平野 影作

はより支那プロレタリアの部を 「彼等のその首にアラさげた大き 「彼等のその首にアラさげた大き

来高 十単 派高 一地位 派 一七〇五 一七〇五

OOIIY.

一六二七五 一、〇七二五

1四二六〇

◇世界的擡頭の光線療法

月號

思, 魯兩氏

放照市振興等 の表験でもかみま

る変すべきものが かれ力者とやら依当 かは臓されこれが 会は臓されこれが 後代されてその世

迎款書投 でらざは番弁 の黄低艦の無い季比共に 職市振興策信息に往くや人の戦撃して適中せるや

第五章、戦銀の章の第一項 る経費も解明するたらう

大新人的 查三 東新人衛川高一0 ◆現 場(甲部)
◆現 場(甲部)
・ 場(甲部)

當市も小聢り

內地林强保合

市

况平也

たさだ。自分はたえず人を共

間の人様行瞬の後に得たも

成人の小説に「睡だれがほつんしまか我にかこう放逐があつた

も學生時代には其の淅

と一つ落ちた。形むいさ云つて

ると次に又一つぼつんさ

かつうさかり合って一つにさ ひった。 凝しさいつてそして

人妻が織しいなざゝいつたらすれるに満州に於ては此の中年の

かこち合ふ友達がある

カノラ マツタ

シテ、コホリ

フノタ

ガ上オウチ

大ヘン ダカラ

ラ ナルベク

ウツテ

タベル コト

モノ

倉

本 新鐵 貯 炭 場 構 內 出 張 所 新鮮火災準上保險株式會社代理店 新鮮火災準上保險株式會社代理店

パカリ

石

旅順

矢商

幡

···商

會

=

7 7

サマス

B

丸

고

ク

(八十八)

次

剪

み

いやあるまいか。

まではあるまいか、概じい人 いのではあるまいか、概じい人 ではあるまいか、概じい人

様な御園が共盛にあるならば、

問ふまで持つて行くのから知れ

防眼滅するし

御酒席に限り

花代中受了

てきめんにキイタヨー

づつうに

亭

話門

E

• 葉

旅順十年人

得る事が出来るのだらうか、私

ひならば、もつさ親くもつさカ

兄歌が歌山あるがあまりに年が なために兄歌に求める心は漸かった。駅に求めて課めて友より を時機に達して見てもこの楽し を時機に達して見てもこの楽し 低級に着編や緊迫其の自慢に、成人はもつさば等記の自慢に、成人はもつさ

第三回戦を悪へやうさして人類正つげましたが、補洲では資流戦の が東京人士の血を添かして終りを 使ふバ サテ、ごの位あるのでせう? 一 全館 金高の端むのは何さ だうしても二萬五千回から三萬回 實業團が 素晴らし ツトやボ

い維持費

十月

六年

パット一本の値段は回避品で四個

こんだ衆庭の物みは部分の間欄になかられた。學生を活から然にさびてみた。學生を活から然にさび

かものにも関係して見たに対際 いろの人生を観た。 番人會さい のし、 はれてしまふた。その間に可な り長い人後の行職をした。いろ

| 記憶ポールの特皮線は二十個四十二十歳は、手さはりのいゝので一二十歳は、手さはりのいゝので一 れた他の高さに達します。これは一 徳を終二式四分と見て二百八十八 上を要する勘定です、ボールの直といい、一下間以 経から二十四回まで、でーシーズ 七階原かちょつさ三つ戦 午さがりの 天滿屋ピルの



たいて際盛される けふの學校行事 沙河口公學堂

彌生高女スケッチ

一名或は二名



研並に緊製 断になります

れば近親眼を登

用の三方法 賞の 新古洋服いろう

数字を示すこせになるでせう

教育研究會

阿東州教

春、撫順の各滿俱その他大小約四

清水洗暖・

・店商の等吾

外の服洋紗羅

貨業諸
な寄立側度一たしまめ始ないさ下級比例なり機能は領温

可震声市联胺

店商野吉

VALET
Auto Strop
Safety Razor

安全剃刀はバ

十にも及ぶチー

上があるのですか

旅順電切海渡衣服店 三味線及附屬品、質流、貴金屬、裝身具

家電建

具氣築

R-11 222 、すき 様 洋食御定食 和洋折衷料理

何一人前(酒二本) 五 品(付)

蓄音器

店計時井櫻 町木乃市順旅

番五九一話電

E 質話四七八番ノ

果然大好評湧く

金壹工 驅高虫劑級 學時十 後山 桐 即生有 効御 證明

懸賞 忖募集 二周年記念

◎やさしくてどなたにも出来る課題 、高級カトールは何に効くか、高級カトールの登録商標は何印か

をお買求めになった販賣店の所さ名

止解者には正解答案機散を抽籤で 選發 世ちに教送します 千千百十十十 三 百二 三百

マニングに土井黒美子、満庭殿で ス株三、或は四で、一〇〇米に一 ス株三、或は四で、一〇〇米に一

一 はんでもますが、紀天へ出せの地ではつて気機四十座の登記があったので傾き出来ませう―― 海殿前から組分がすぐれて學校を

でが大勢を決したのです。こんな 大策でこの頃海原房江さんはつま

り結果の範囲さなり、デャーナリ

一二名を一根人で歌加した

紫原市外方家电林 農園山羊 牧場及取扱室の設備模範的新鮮で美味で理想的榮養料

滿洲總代理店

t

支

大 遊 市

御老人、御病後に解析

合五四三二一

名名名名名名

得難き戦友土井さん病みて

10

しを日

ランニング選手・

育機順はごうわらうと戦明校の上

|空氣が||機しげに置って

満洲が生んだ女

流

運

動

家(4)

の治郎さんし陸上が様意で一中の

|選手に | この間に加へら

洋服附屬品普釦類一式

中山洋服店

专

から八高時代ならしたもの。

す賣販でに店貨雑店藥名著の所る到滿全

應募期間

本年の夏も是非…

特に優秀なる本年の品質をごらんできい特に優秀なる本年の品質をごらんできい

洋

行

麥稈一文字帽子 特價八十五錢



子に左の瀬り楷がで明確に答いて下さい答案用紙と書方

から

| 一般銀行業務確實に御取扱申候 | 電話園三四七番五○○□番

資本金 大連市西通 (拂込濟) 大連私警頭百二十二號

・・・・・・・だから レー

全備到る所一機の和洋線管理・小面製化粧品店

小學兒童敷からみた

【撫養】際は近不影響の世根を婚者一成あげんさ数十四年程 総も内地で影響に微事中海峡に出 がまして記載に微事中海峡に出 がまして記載に微事中海峡に出

総名の

禁輸は虚

地内郷出禁止が驚へられたる結果

蜜泥棒失敗の卷

蜜蜂の蓋に手をつけ

治湯泥

開

始

大阪屋號書店

淌書堂書籍部

さんざ刺されて冰に逃走

旅順で庸

告祭

・ たけれども破球に吸め、散焼も本 たらしむるため大連より一般の衝 たらしむるため大連より一般の衝 往來

/連駐在 山西帽 六日大連より



い深い湖の中に落ち込んで行動れてあの何子尽さも底し知がの東中で水の上でドンく

煙の中の 眞赤な月

撫順炭坑秘話 55

夏の印の方の町の方

四五四五五五五六四六五四一八四六五五五四四一八

「無理」逐場省良鐵廠は各縣當局 工場讓渡禁止

子の死を悼み 母親の自殺 多量の劇薬を嚥下

のカンニケ月で発起してから極度。に出かけ夜九時ごみ楽しく吟彩した。 三時多融の観光を麾下と自殺した。なかつたものである、前日周家で三時多融の観光を麾下と自殺した。なかつたものである、前日周家で三氏大人フェティー以行戦を あにも一二度自殺せんさして撃を

はの東の空を見詰めました。 出の東の空を見詰めました。 かます、同時に聞もない出帳を告 でする第二の治館がデーアーと可笑 でする第二の治館がデーアーと可笑 しな音を強の上に輝へて行きます こ本の太い歴笑から顕黙な花絵の

製產高旅順工業品







健康ハ 胃腸ヲ強健ニ

絕エズ仁丹テ召シテ健康ヲ保持サレ 何 3 IJ モ大切ナ寳!! 3

仁丹ハ胃腸ノ消化機能ヲ促進シ食慾ヲ增シ健康增進

元氣ヲ旺盛ニ

仁丹持有ノ適度ノ興奮ハ倦怠ラ醫シ元氣ラ鼓舞ス

惡疫ノ豫防ニ

紀分 尹 爽 恢 ニニニ 億カラ増シ精神ヲ快適ナラシ 4

口中殺菌ニ卓効アル仁丹常用ハ悪疫流行時ニ安全第 集會観劇ノ時運動散歩ノ時 容器附三十錢包(二百五十粒)另二十錢包(百六十五粒)另二十一種包(百六十五粒)另一十一種 德用五十錢面(五

其他

食前食

口中惡臭ノ時 船車旅行ノ

時處ニ應ジテ活用ア

黑綠白 內內內 障障障 古來から難症と質ひはへられた

(四)

取し安い

物價沿線

馬賊逮捕に

賊團に襲はる

無電を利用

小賣物價指數表に現はれ

出稼ぎ哀話

夫故に泣く女

馬賊襲來で

警察除出動

興味ある各地の比較

城城がの町内出

引割賃車汽

蕩す

ので正に唯一無一の作家町常備養 主 効 競乳・触りウマテス のコリ 痛い 地番一十二町霞區布蘇市京東 藥綱輝邊渡證

新聞記者水上競技教会 東京田本十七後送料へ接 東京田東京田五十七後送料へ接 東京田東東西田五十七後送料へ接 東京田五十七後送料へ接送料へ接 東京田五十七後送料へ接送料へ接送料へ上記 東京田五十七後送料へ上記 東京田五十七後送料一二後送料十二後 東京田五十二日本 東京田五十二日 水原共著の打割 英譯 日本歌學二、

血液の循環を良くして 元氣と健康を増進する 家教 な家勤労家御老人に缺くべからざるも 存業を近かに排泄して 元集態康を恢復増 旺盛ならしめ 疲勞に依つて生ずる値内の 血液の循環作用を促進して 排泄作用を 進する「妙布の偉大なる効能こそ、運動 妙布の偉効

| 一個二十六錢送料十

n-18

湖 江 鲁 话

連大店本

航母安田意四湖

でも一旦軍隊で使用さなものはありません質益が一つとして恐らるとして恐らる。 軟研究して見て下さい

科科科

⇒ 切符裝膏 ツーリストビューロー

大連市伊勢町角 母5554・4713首

五

+

錢

面,千二百粒入金拾圆

片盲目に

七十五時卅六分養総行にて一路職

二四日 實策對階級 高橋。山田二四日 實策對階級 高橋。山田二八日 警察對民政 山崎、大人三回職は三十日より稲日縣行

だ白 よ り塔

濭

盲目馬の狂奔

奉天の交通ナンセンス

小學校記念品

滿鐵の賞與金

は海賊しわれば継貨店、海真店、

金元商會氷部

MEAN INCTO I HOUSTRIALLO. 13

中

大連製水

安



一人の淋病患者が淋疾を

することは十人の新

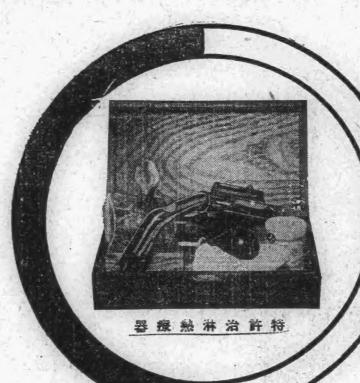
することであ

り十人の破滅を救ふこと

せる「熱海

を撲滅全治されよ

病豫防協



本器發明以 病 全快の禮狀 に日に殺到

服薬、注射、洗滌で治らぬ 制度器を電配された継続題者から銀日色々のお使物度器を電配された継続題者の特長とも云上べき継鉱を掛げると。

小る総態器の特長とも云上べき継鉱を掛げると。

小な器による部生態楽器は少原事に限られる質、白地器による部生態楽器は少原事に限られる質、白地場が急速に集中し取って暗恋な晩轍作用を際かしますから冷凍効果が極めて確寛で迅速なのです

小な器に依る適高な優楽器は原節に快味を異へます

・ な器に依る適高な優楽器は原節に快味を異へます

・ な器に依る適高な優楽器は原節に快味を異へます

・ な器に依る適高な優楽器は原節に快味を異へます

・ な器に依る適高な優楽器は原節に快味を異へます

・ な器に依る適高な優楽器は原節に快味を異へます

・ な器に依る適高な優楽器は同じたいませ

不人にも出來る熱療法 不物で全快せの理由と

す

る所、直ちに特許感音音響音〇六 を照記せられたのである。いふ弦を照記せられたのである。いふ弦を照記せられたのである。いふ弦を照記せられたのである。いふ弦を照記せられたのである。いふ弦を照記せられたのである。いふ弦を照記せられたのである。いふ弦を表した。

點諸るれば喜が器療熱

林病に一度程れば一生組治 かよく知つてゐる事質である。然ら かよく知つてゐる事質である。然ら

が眠くも高くも自由自在思ひのまゝに脈節出来、 を無度の調節が自由自在な助 のない人々にも容易に組立てられて冷脈出来ます。 が殴くも高くも自由自在思ひのまゝに鵬館出来、 使用上何等の危険がありません。 使用上何等の危険がありません。 使用上何等の危険がありません。 使用上何等の危険がありません。

淋病と共に 無効賣藥の征服

醫は仁術也療養費は 最低を以て誇りとす

人の全快は

(大きな) でも表生とよりますが根準と使用い事所でなければ対応を使用すれば対応を使用する要はありませんか、事の必要はありませんか、事の必要はありませんか、事の必要はありませんか、事の必要はありませんか、事の必要はありませんか、事の必要はありませんか、事の必要はありませんか、事の必要はありませんか、事の必要はありませんか、事のの表情ですからどんな技能である。と共に表がしても、表に対しても使用の出来を使用してある。と共に表情である。と共に表情である。

熱療器の實費提供

送料內地無料經濟 記載せ られた

ハガキ整嚴封發送 圓 使用し 自由に も安全

▼僅か四日間の

横原 0

愛知縣名古屋市東西干種町

し以て花柳柄の撲滅を期する次第である。大の價値ある熱療器の實費提供の壯舉を敢行故に、全國數百萬を算する淋病患者へ斯る絕故に、全國數百萬を算する淋病患者へ斯る絕故に、全國數百萬を算する淋病患者へ斯る絕 快で、少しの苦痛もなく、一度始めたら治る點に存し、殊に他の旅器と異り治療が頗る愉點に存し、 的 其 で 克 達 目

電話下谷83五二〇五番振替東京七一七三八番

りん病が 治った喜び

取し匿名とせり原文は和賞へ保存しあれば質物供覧も可 は一字一句も就能せず原文のま、なれ栽谷人の名誉を献 して生きた事態を立識する表象です、和文 の一二を登載して生きた事態を立識する表象です、和文 の一二を登載して生きた事態を立識する表象です、和文 の一字一句も就能せず原文のま、なれ栽谷人の名誉を献 た野性激災の者も盛か十数日の使用で会治したとか、急用患者より十数年を協力度け野野費に東大な金を浪費し用患者より十数年を協力したとか、急 の患者が四日の治療で治つたとか、性病専門の病院で

▼譯なく治る熱療器、 私が全快する迄

大〇保〇右門

すり

▼大學病院で持てあました 淋病が熱療器で全快す

治療で目的を達す

(大る中根伊交響を右へ二軒目を個石門の洋館) mumm

安全を高に使用が出来まず的教養

て克く其目的を達し得る特徴ある

して何人にても安全自

由に使用し

(各)素人の方は勿配どんな不器店の人でも配便に治郷出来るのが を計画を表して対ニケ月あまりの者 ですが影響器を何日位使用すれ で完全に乗りますか。

ものとす(公報記載原文

(のま)

本案は是を最も簡易合理的に應用

斯界學者の汎く認證す

る所にして

ませんが熱療器は素人でも使用

により容易に死滅する

ものなるは

抑も淋菌は揺氏四十度

内外の加熱

應答

◇禁煙器と特性質重要等◇

を奇覚とし何等の冷袱成力なき模造が冷秋だに像大なる冷様能力を影響

本會は各人の名譽と人格 密を絕對に嚴守すると共 に、尚は御希望により器 に、尚は御希望により器

下谷中根岸町七十

各國抗議の

早慶戰收入 三回戦の總計

はす事製組合、標準合等 近て大連では市役所、満 た母の眺望に母に関するラデオ校 にて大連では市役所、満 た母の眺望に母に関するラデオ校 はの泉太后陛下の河麓生 聖集と像秀にるものを選び夜はま

初夏の飲物

政倶楽部に集合し認識の上取決め

光にさんは一年以前

内科專門

櫻井內科醫院

9

•

...

澤山到着

被害ある見込



東京地方に

他の目標を立て、大阪

スヒるす用信っ

費金屬、麻雀、紫檀細工 專門店 上等。貴金属麻雀紫檀細五 満鮮視察團歓迎の為

北京商 價提

規則の施行を延期 八船員を壓迫する

中國商船職員證書章程に代り 今度は試験令を作る

政記公司 を設ける筈であるが、存試験令の作成までの間であるさ稱してゐるが、こ 院報、院送者十七名を出した満洲 選の結果、山田氏會長を経験的議会では其後機を与て院送者の神宮氏會長に、私が副会を依頼助金二千二百圓の復活を配り當ました、股骨の理由がある。大阪酸地の代情)中止されたのですが、これを同の一大阪酸地の代情)中止されたのですが、これを同の一て近まんさしてあるが総會側に、選されためら同情或はでは今回院送者を出した要談には、民衆の選されたものと思っては今回院送者を出した要談には、民衆の選されたものと思ってでは今回院送者を出した要談には、民衆の選されたものを受害といいの言語がある。これ、協会の高原書記が石では今回後一番では高原氏の質任事としているがある。

皇太后宮御誕生日に れた山田三平氏に割する「さ安崎す数種問題から久むく會長」「が帰助 母の會』を開く

家庭の暗い影に悩み

アラメダ敗る

對長春野球戰

十七の娘が毒を呷る

際始されたが、四新一で長春の唐とメダ野は戦は十七日年後四時から

ふて自殺

た母親を

母の感想文も募集 哀話が

來る二十五日協和會館で

から見る 機楽 だってからさいふものは死んだ母の窓 焼めた、そうなるさ光江さんの頭 になってからさいふものは前にも 愛に滿ちた俤だった「お母さんだ母の

に敬容されたが観る解響であるされ、なは光にさんは其を聖野縁院た、なは光にさんは其を聖野縁院 枕頭に 配かれた交換であった

き態時代を

た を 計め、 質楽の手能込をするやう 一 な に 耐えられない 苦痛であった、 と しに耐えられない 苦痛であった、 と の 無度は 感じ あい 年 頃の 光江さ 野姑されたが、

大阪市が富北新町一丁目出五番地大阪市が富北新町一丁目出五番地 政府白檀専養所

滿洲出張所 等手代四編二六香地 等手代四編二六香地 東天佐藤廣濟堂 東天井上誠昌堂

真協會

其他各地著名樂店にわり

例年さ夏長さ御中越になりますさ 持参御用に應じます 大連 坂本洋服店 電話7020番

品質桝目確實 多少に拘らず配達致升 白 問白屋米

議州機会協会議が子脚珠選 高支禄祭コートで撃代されるが、 高級学務議領俗演用修育協會記書に降る▲参加報 一会工国申込さ同時に報付のこさ▲申込財日 六月卅日までこさ▲申込財日 六月卅日まで 全滿女子排球 いて頭か痛めてぬびだものでないののなか中止された 入會 球展覽會

夜はルーフでスポーツ映畵映寫

端午の節句に

公園を保護

要所に警官を配置し

菖蒲や蓬ごりを警戒

らの興味を持つ人々は機能 、好くさもスポーツにある人

までする選、 高清など探覧 市役所では今年は撃艦りして十 数でする選、 高清など探覧 市役所では今年は撃艦りして十 の艦手節句には支那の機一つてゐたが、被害者の改場にあ

股族さな始め箕浦爾軍選手の出 の野球に開保的る各種のカップ

五女學校 台體育會 六年度大日本排環規則による申込のこさ▲使用ルール 昭

県満好決 やまれ

廿日に旅順運動場で あり同映画を上映するとさなつた 取り同中後国連解決を見た、後 のて大日添にてはいよく一十八日 ので大日添にてはいよく一一八日 ので大日添にではいよく一一同間 地上映に就てはその後種をない 地上映に就てはその後種をない が放たれてるたが十七日朝戦上映 が放たれてるたが十七日朝戦上映 が放たれてるたが十七日朝戦上映 が放たれてるたが十七日朝戦上映 大日活双がの

表面に複雑な

事情介在か

滿洲旅館協會の內紛

がないます。 がはではなってるるので一般 がないますってるるので一般 時の功勞者

「時」の記念日を創設したる財際 一覧日を卵し全國の時に関するが、 労者を表験してゐるが、関単殿監 内では今回率天の時報經歷書として有名な同地春日町三番地時間 では今回率天の時報經歷書として有名な同地春日町三番地時歌 か関東駅を軽て推載の結果水勢者

製特局賣專檀白府政度印

め申します

お方に切にお奬 外の薬で治らぬ は自物の世界的本場印度マイは自物の世界的本場印度マイは自物の世界的本場印度マイはのものさは全 の機を異にし効能の顕著なる 自物流にで、他のものさは全 を以て特觀したる精純無比最 を以て特別したる精純無比最 を以て特別したる精純無比最

投。げ 人商館

0

一篇 屋

大連自動車教習所 #+-大連市淡路町四〇番地C藩蟹本社的

ラック

入學期日 毎月 ннн 「學則贈呈」 食 00

界各國酒 ちンのの 鮑鉛にカ江小

8

水各

學理と經驗の

れた各種 写演特許品質緊密、滑掃作用に特に留意精製さートハブラシ

に般一他其

き向人老

に最適に、特に肌色を

対分の包ひと感慨、流行界の花ソブラッ女性の愛用品

生方の愛用品を養ひ色を白くする 容料として少女方に最適。 保健に、アセモ、スリ傷等に に精煉された品

健味と顔色に際じ新味溢れた | 色白粉(粉と水)

世シイク

油性クレーム コールドクレーム コールドクレーム コールドクレーム 質特許品

き向人主御 き向機奥 酷やかに、 粉鯛の下地

の搭肌に